

第 29 回 発電用設備規格委員会 材料専門委員会 議事録

1. 日 時: 2015 年 11 月 26 日(木) 13 時 30 分～17 時 00 分

2. 場 所: 日本機械学会 第 1 会議室

3. 出席者: 委員総数 18 名中、出席者 16 名(代理 2 名)、欠席者 2 名

高橋(電中研)、木村(NIMS)、山田(中電)、浅山(JAEA)、木原(ベストマテリア)、澤田(NIMS)、榎木(日鉄住金テクノロジ)、藤森(日立 GE)、朝田(三菱重工)、安田(原安進)、高橋(東芝)、尾崎(東電)、寺田(東工大)、村上(MHPS)

代理人:相澤(日本製鋼所、田中委員代理)、野村(IHI、久布白委員代理)

欠席者:伊勢田(新日鐵住金)、齋藤(三菱重工)、

オブザーバー:宮口発電用設備規格委員会幹事(IHI)

事務局:小沢、原

4. 配布資料

資料材 29-1 第 28 回材料専門委員会議事録(案)

資料材 29-2-1 材料専門委員会委員名簿

資料材 29-2-2 材料専門委員会委員出欠状況等

資料材 29-2-3 材料専門委員会新材料規格化分科会名簿(案)

資料材 29-2-4 材料専門委員会材料規格統合化分科会名簿(案)

資料材 29-2-5 材料専門委員会材料事象解説分科会名簿(案)

資料材 29-3 第 75 回発電用設備規格委員会議事録(案)

資料材 29-4 欠番

資料材 29-5 材料専門委員会 第 9 回材料規格統合化分科会議事録(案)

資料材 29-6 材料専門委員会 第 3 回材料事象解説分科会議事録(案)

資料材 29-7 JSME 発電用原子力設備規格 材料規格 2013 年追補 添付 1 新材料採用ガイドラインにおける Su、Sy 値策定のための手順書案(内規)

資料材 29-8-1 要検討事項

資料材 29-8-2 SN 材の Su、Sy 値の解析結果(2015.11.26)

資料材 29-8-3 常温の許容値が JIS 材料規格値より引き下げられた場合の設計への影響

資料材 29-9 材料専門委員会 課題対応一覧(Tracking List)

資料材 29-10-1 メール審議の実施要領

資料材 29-10-2 【参考用】規格委&原専における「メール審議の実施要領」書面投票コメントと同回答案

資料材 29-10-3 (参考用)規格委&原専書面投票意見を反映した「メール審議実施要領(案)新旧比較表

資料材 29-11 規格委員会・専門委員会書面審査における担当チェッカー制度の導入提案

資料材 29-12 発電用原子力接尾規格 設計・建設規格第 II 編 高速炉規格 材料強度基準等改訂案に関するレビューのお願い

5. 議事内容

(1)開会

開会に先立ち、発電用設備規格委員会湯原委員の急逝に対し1分間の黙とうを行った。

開会時において出席者は委員総数18名の2/3以上(12名以上)の16名であり、本委員会は成立することを確認し、高橋委員長が委員会開催を宣言した。出席者が自己紹介を行った。

(2)議事次第確認

議事次第(案)と配布資料を確認した。

(3)議事録(案)の確認【材 29-1】

第28回材料専門委員会の議事録(案)の確認を行い、一部の誤字脱字を修正することで議事録案は承認された。

(4)委員委嘱関係【材 29-2-1、29-2-2、29-2-3、29-2-4、29-2-5】

村上委員(MHPS)が12/31付けで退任予定であることが報告された。

材料規格統合化分科会名簿(案)【材 29-2-3】(吉田委員の副主査就任、山田主査、安田幹事、永江委員、石毛委員、戸田委員、齋藤委員、浦部委員の再任)が承認された。

新材料規格化分科会名簿(案)【材 29-2-4】(澤田主査、屋口副主査、齋藤幹事、木村委員、林 芳隆委員、林 貴広委員、鬼澤委員の再任、宮田氏(日立 GE)の選任)が承認された。

(5)規格委員会報告【材 29-3】

高橋委員長より第75回発電用設備規格委員会議事録(案)の材料専門委員会関連部分が報告された。(SN材の許容値検討、Su、Sy値策定のための手順書案、材料事象解説の改訂方針等)

(6)分科会報告

6-1 新材料規格化分科会報告

口頭にて澤田委員より活動状況が報告された。

6-2 材料規格統合化分科会報告【材 29-5】

第9回 材料規格統合化分科会議事録(案)を用いて山田幹事より活動状況が報告された。

JEAC3605-2014「火力発電所の耐震設計規程」における耐震設計用許容応力の設定に関して、その解説において「発電用原子力設備規格 材料規格」の高温の Su、Sy 値が参考となるとされていることの紹介がなされた。

6-3 材料事象解説分科会報告【材 29-6】

第3回 材料事象解説分科会議事録(案)を用いて浅山委員より活動状況が報告された。

参考文献の収集を鋭意行っていることの紹介がなされた。

6. 審議事項

(1)発電用設備規格委員会からの提案

1-1 メール審議の実施要領【材 29-10-1～10-3】

発電用設備規格委員会 宮口幹事より資料に基づき提案内容の説明がなされた。審議の結果、1ヶ月間の書面投票を行うこととなった。

1-2 規格委員会・専門委員会書面審査における担当チェッカー制度の導入【材 29-11】

発電用設備規格委員会 宮口幹事より資料に基づき提案内容の説明がなされた。審議の結果、1ヶ

月間の書面投票を行うこととなった。

(2) Su、Sy 値策定のための手順書案(内規)【材 29-7】

澤田委員より資料に基づき説明がなされた。

審議の結果、「2.手順」の「②トレンド曲線による方法について」は実際の手順の順番に並び変えることとした。

(3) SN 材の許容値策定【材 29-8-1～29-8-3】

澤田委員より資料(材 29-8-1)に基づき SN 材の許容値策定方針案について前回の審議結果を反映した内容の説明がなされた後に、木村副委員長より資料(材 29-8-2)に基づき SN 材の Su、Sy 値の解析結果(前回審議結果反映)について説明がなされ、結果についての審議を行った。審議の中で澤田委員より資料(材 29-8-1)の「要検討事項」についての確認が行われ、検討事項②は検討不要とした。検討事項①については TMCP 材のアドヴァンテージをサーベイする観点からも B 材単独、C 材単独及び B 材と C 材一括のそれぞれのケースの比較検討を行うこととした。

朝田委員より資料(材 29-8-3)に基づき常温の許容値が JIS 材料規格値より引き下げられた場合の設計への影響について説明がなされた。この問題は、室温の Sy 値を上降伏点、高温の Sy 値を 0.2% 耐力としてトレンドカーブを策定することで課題が解決されることを確認した。(材 29-8-2)

(4) 他専門委員会からの検討依頼【材 29-12】

浅山委員より資料に基づき(発電用原子力設備規格 設計・建設規格第 II 編)高速炉規格で用いる材料の強度基準等改訂案に関する事前のレビュー依頼がなされた。審議の結果、正式に依頼がなされた後に Tracking List に掲載することとした。

(5) 材料専門委員会課題対応一覧(Tracking List)【材 29-9】

木村副委員長より説明がなされた。

「CASE2 材料専門委員会独自の検討課題」に材料事象解説の検討課題が追加された。

7. 次回開催予定

日 時: 2016 年 3 月 10 日(木) 13:30-17:00 (予定)

場 所: 日本機械学会第 1 会議室

以 上